

電機・情報ユニオン

2012年5月10日 第8号
 発行 電機・情報ユニオン
 〒108-0073 東京都港区三田3-2-20
 Tel 03-3455-6006 Fax 03-3451-3595
 Email : dp45011930@de.lolipop.jp
 H P : http://denki-union.com/

ラピスセミコン

労働者の意思を無視した宮崎移管は許せない

労働組合を結成し、会社と団体交渉

2011年7月に突然「WLCSPの職場を宮崎に移管する」と発表し、従業員に衝撃を与えました。しかも、労働組合と協議しないままの一方的な発表には組合員からも批判の声が上がりました。

今日まで二回の中央労使協議会が行われましたが、基本的に会社は「この施策は、労働組合との協議事項ではない」との姿勢を変えていないため、労働組合には事後報告と

突然に発表

沖電気の半導体部門(5500名)は、2008年にローム社に売却されてOKIセミコンダクターとなり、2011年10月にラピスセミコンダクタ(株)に社名を変更しました。ローム社に売却された翌年の2009年に大合理化が実施され、従業員が半減しました。当時、会社は「これ以上の縮小はない」と言っていました。

宮崎への移管を

宮崎出向に際しては、宮崎支店制度の利用で退職。出向には応じられないの三択となっています。出向に際しては、定年後の再雇用(シニア社員・一年毎の更新)従業員は次回の契約更新はない、また定年前の従業員には移管完了の九月に出向辞令を出すとしており、出向に際しない労働者を退職に追い込む強硬姿勢を変えようとはしていません。

従業員に

この移管での被害は生産部門を担っていた請負会社と従業員にも及びます。従業員(約130名)であり、移管完了後の雇用

請負会社の従業員の

雇用は守られるのか

この移管での被害は生産部門を担っていた請負会社と従業員にも及びます。従業員(約130名)であり、移管完了後の雇用

この移管での被害は生産部門を担っていた請負会社と従業員にも及びます。従業員(約130名)であり、移管完了後の雇用

労働組合の結成を会社に通知

私達(シニア社員)は、繰り返し議論を重ねてきました。コンプライアンス委員会や労働組合の回答からみて事態を打開するためには新たな労働組合を結成して対応するしかないことを確認し、4月17日に会社に対し「労働組合結成通知書」「団体交渉申入れ」「要求書」を送

第8号の紹介

- 1面 労働組合を結成し、会社と団体交渉
- 2面 学習会 原発ゼロ・再生可能エネルギーへの転換を第83回メーデー
- 3面 職場単位での労働相談 東京支部 東京都心にある米軍基地を撤去させよう！ 米田委員長メッセージ
- 4面 交流のひろば、告知板

5月11日には、会社との団体交渉を行い、18日には、「つごい(右図)」を取り組めます。電機・情報ユニオンの新たな運動が始まります。(加藤 孝)

電機・情報ユニオン八王子分会結成
ラピスセミコン(旧沖電気)の闘う仲間を上げますつごい

5月18日(金曜)
 午後7時~9時(8時30分開場)
 八王子労働会館
 主催:八王子労連 / 電機・情報ユニオン東京支部 連絡先: 電機・情報ユニオン八王子分会

かたくりの花を見に

関西地本

柴谷 守彦 さん

連休前に山陰のTwitter仲間から誘いがあり、30日に中国山地の船通山にカタクリの花を見に行きました。大阪を26日17時発の高速バスで出発し、20時30分米子着。その日はJR大山口駅から車で30分ほど大山寺方面のトレイラーハウス(May Day)で宿泊。

次の日は松江の職場で自転車を持参して松江市内、宍道湖を一人でツーリング。28日は、親子劇場(Twitter仲間)の皆さんの徒歩で宍道湖一周に紛れて、レールウェイの二煙電鉄で電鉄沿線を散策。

29日は、山陰お陰ネットのTwitterのたこ焼きと打楽器ミーティングに飛び入りで参加！

そして30日、船通山の鳥取側登山口にTwitter仲間7名が集合。生憎の風雨の中を頂上めざして出発、約2時間で頂上直下に到着しました。なだらかな草原状態でさぞや景色が良いであろう風景

交流のひろば

も激しい風と霧の為に展望は望めませんでした。カタクリの花は未だ蕾が多く、あと数日で満開を迎えるのではと思われます。

「May Day」に開催を

中央本部 馬場 豊彦 さん

連合茨城日立地区メーデーが4月21日に、日立駅前広場で開催されました。気温が低く風も強くて寒かったこともあって、家族連れ中心に受付をして帰る人が多く、10時開会時は2000人に満たない状況でした。

みんなが参加しやすいようにとの配慮で、連休前の4月21日開催としましたが「メーデーの気がしない」の声も。国際的な労働者の日を形骸化させないために、メーデーは「May Day」に開

ある日中山さんから声がかかった。「団交に用心棒として参加してほしい」とのこと、驚いたが「お役にたてるのであれば参加します」と引き受けました。相談者は韓国の方で、社長は韓国の方でした。事前打ち合わせをしてから、団交会場の会社に向かいました。相談者は外で待つことにしました。

日立茨城は毎年の連合メーデーに、労働者へ連帯のピラを配布しています。今年も5人で、参加者に挨拶を交わしながら配布しました。用意した500枚のピラは40分ほどで完配となりました。

団体交渉に参加して

東京支部 橋場 伸一 さん

ある日中山さんから声がかかった。「団交に用心棒として参加してほしい」とのこと、驚いたが「お役にたてるのであれば参加します」と引き受けました。相談者は韓国の方で、社長は韓国の方でした。事前打ち合わせをしてから、団交会場の会社に向かいました。相談者は外で待つことにしました。

中山さん、加古さんと私の3人は会社の応接室(会議室)の窓側に座り、社長、会長、そして社会保険労務士がそろい始めました。中山さんが団交申し入れの趣旨を説明して、それに

中山さん、加古さんと私の3人は会社の応接室(会議室)の窓側に座り、社長、会長、そして社会保険労務士がそろい始めました。中山さんが団交申し入れの趣旨を説明して、それに

参加の輪・支援の輪を広げましょう

JMIU高見澤電機支部裁判

- ・控訴審・第3回口頭弁論、東京高裁820号法廷
- ・6月28日(木)11時00分~

三菱名古屋派遣切り裁判

- ・控訴審・名古屋高裁1003号法廷
- ・7月3日(火)13時30分~

パナソニック若狭・正規雇用裁判

- ・控訴審・第2回口頭弁論、名古屋高裁金沢支部
- ・7月4日(水)10時30分~

NECセミ偽装請負裁判

- ・熊本地裁、結審
- ・7月27日(金)11時30分~

対する会社の考えを社長が答える形で進められました。中小企業の業績悪化で先行きの見えない印象を受けました。よって整理解雇であり不当だと思いましたが、相談者の働き方や契約の経緯を聞く中で弱小企業の立場も理解できるようにもなっています。

結果、2回目の団交で金銭解決となり、異国の労働者が日本企業で働くことの難しさが離職と言う結果を生み出したのではないかと感じた1件でした。初体験をまとめてみると、東委員長から次の団交の声がかかった。

あしがき

中央メーデーに初めて参加しました。参加人数、横断幕、プラカードなどの多さと内容の多彩さはさすがに中央メーデーでした。

ラピスセミコンダクタでの組合結成、東芝モバイルの労働者への相談活動など、新たなたたかいと取り組みも生まれています。これまで取り組んでいていいる人減らしリストラ反対もさらに運動を強め、たたかいのなかで仲間を増やしていきたいでしょう。(一)

学習会

原発ゼロ・再生可能エネルギーへの転換を



感動と元気を与えた伊藤千尋さんの講演

電機・情報ユニオンと電機懇共催の学習会が4月21日に開かれ、64名が参加しました。当日は、職場からの報告もあり盛り沢山でしたが、特に伊藤千尋さん（ジャーナリスト・朝日新聞）の情熱あふれる講演は、私たちに感動と元気を与えてくれました。

何よりも、世界と日本の各地を歩いて取材した話は説得力に満ちていました。その一端を紹介しましょう。

【日本の技術が支える 世界の地熱発電】

環太平洋地域は地震の巣であると同時に、地熱発電に適しています。南米のコスタリカは、水力と地熱で電力のすべてをまかっています。

その技術は、何と日本からの輸入でした。ニュージランドへも世界最大の地熱タービンを輸出しています。

日本には、原発20基分に相当する地熱発電が可能です。脱原発の力ギはここにありま

【日本の未来を 変える取り組みを】

高知県梼原町の取材で、自然エネルギーの活用が町も人も変えた例を紹介しています。

住民一人ひとりが意識と自覚をもって、風力・太陽光・地熱・バイオマス・小水力など多彩な活動に取り組んでいます。

その結果、財政は県内トップ、医療費ももつとも少ない町になりました。

さらに隣接地域がうらやむほど、住民の明るい笑顔と元気な姿に満ち溢れていることです。ここには、日本の未来があります。

また、山口県上関町での原発で闘っている島ぐるみ活動では、単に「反対」しているのではなく、自然を守り自然エネルギーを活用することこそ、地域の経済と活性化に欠かせないことを取り上げていました。

（井坂 正敏）

職場単位での労働相談

東京支部

昨年7月に支部結成して以来、個別の労働相談を受けてから着実に組合員を増加させてきました。直近は、人減らしリストラが急速に進められて中で、職場単位に複数での相談が相次いでいます。

ラピスセミコン（旧OKIセミコン）の職場では、八王子分会を結成し、会社に対して組合結成通知と団体交渉を申し入れ、5月11日に団交を行う事になりました。

東芝モバイルで働いている労働者から事務所に「転職支援プログラム」の対象にされ、このままでは早期退職させられてしまう」と労働相談がありました。

4月13日の事務所では1人からの相談でしたが、4月17日の相談会には3人が参加され、5月2日に開催した尾林弁護士を講師にしての「学習会」には5人参加と増えました。

弁護士から解雇4条件の問題を「ホクエツ福井事件」を例に説明があり、労働組合に結集すること、電機・情報ユニオンの

と的重要性が強調され、5人から率直な疑問が出されよい意見交換になり、その後の相談会で5人の相互交流会議などの具体化ができました。

4人には電機・情報ユニオンの加入申込みを渡し検討していたことになり、次回は、5月10日の東京支部の執行委員会の開会前に1時間程度打ち合わせをする事になりました。今後とも関東地本の援助を受けながら解決に向けて取り組んでいきます。

（谷口 利男）

東京都心にある米軍基地を撤去させよう！

私は、4月18日に東京都青山公園で開かれた麻布米軍へり基地撤去集会（麻布へり基地撤去実行委員会主催）に参加しました。

集会は松平晃さんのトランプットのファンファーレから始まりました。ゲゲゲの鬼太郎のテーマソングをモチーフにした楽しい演奏。

集会実行委員長は「昨年から今年にかけて、公園の一部（4700㎡）を返還させたこと、隣にある国立美術館を

飛行禁止ゾーンとして米軍の飛行マニユアルに記載させたこと、横田基地返還の運動と連携するようになったことの3つの成果があった」と報告し、「今年には日本平和大会が東京で開かれるから、多くの人にこの運動を知ってもらわなければならない」と強調しました。

主催者の挨拶に続いて、日本平和委員会代表、横田市民集会実行委員会代表などの挨拶が続きました。

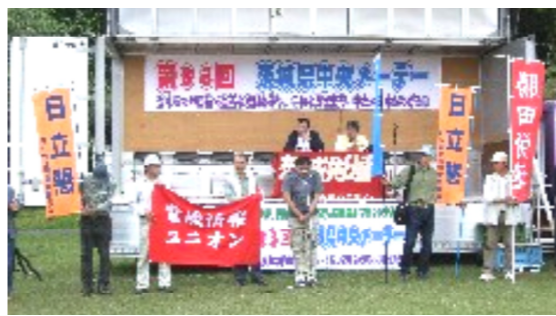
集会のあと、参加者は基地

のゲート前からミッドタウン前までパレードして解散。

1967年4月18日、当時青山公園の隣にあった東大生産技術研究所と物性研究所の労働組合が合同春闘決起集会でへり基地撤去の決議をしたことから撤去の運動が始まりました。その後「米軍へり基地撤去」の集会は毎年開かれ、今年で45回目です。港区も区長や議会が、東京都や米大使館に「基地撤去・返還」を求めています。

（東 健郎）

第83回メーデー



茨城中央メーデー 2分間スピーチではユニオンの役割、今闘っている鈴木さんの労災認定を訴えました。

「99%」の力を総結集し、たたかいを飛躍的に前進させよう



中央メーデー 米田委員長をはじめ約20名が参加。全体では2万1000人が集いました。



三多摩メーデー 初めての行った交流会では、たたかいや思いが語り合われました。



大阪中央メーデー 新しい仲間も参加して、元気よくデモ行進。28日には関西電力包囲行動にも参加。

5月1日、全国各地で第83回メーデーが開催されました。電機・情報ユニオンの組合員も大勢参加し、横断幕を持ってのデモ行進、ピラ配布、訴え、署名活動などを元気に取り組み、地域労連や参加団体との連帯を強めました。

また、集会后は交流会を行い組合員間の親睦も深めました。

東芝の若い仲間の相談

4月はじめに東芝の野工場（東京）で働いていた労働者からの相談を受け、中旬に集まってもらった。

「5万から10万円も賃下げされ、退職金割り増しは16ヶ月分」だという。「私は組合にアレギーがあります」と率直な気持ちも出されました。

「困っている仲間も誘って学習会をやりましょう」「数は力になりますので」と激励した。

5月2日には新しい仲間も参加して、尾林芳匡弁護士（八王子合同法律事務所）を招き学習会を開いた。一人ひとりから弁護士への質問が出され、5月連休明けに集まることを確認して、新たな闘いが始まった。

ラピスセミコンダクタ（旧OKIセミコン）では、半導体製造部門の移管をめぐってシニア社員にも宮崎工場への移動の打診が始まっています。

「労働組合の協議をつくさないや方は納得いかない」とも宮崎にはいけない」と4人の仲間がローム社コンプライアンス委員会へ通報行動にでたことで取締役人事部長との話し合いが実現した。が、「ラピス」労働組合からは「なんとも言われていない」「会社の方針に従ってもらうだけだ」と言い放ち、労働組合に申し入れても「私たち（組合）はないもできない」という始末。

4月17日、電機・情報ユニオンの4人の組合員が労組結成通知（ローム社にも通告）と団体交渉を申し入れた。

5月11日の団体交渉から新たな闘いが始まる。

